

第2回 第2次宇城市総合計画審議会 第2回会議議事録（概要）

日時：平成28年11月29日（火）午後2時00分～

場所：宇城市役所新館第4会議室

1 開会

2 議事

- (1) 第1回会議の振り返り
- (2) 基本計画（草案）の提示
- (3) （草案）に対する施策別協議（グループワーキング）

3 閉会

【配布資料】

（事前送付資料）

- ・宇城市総合計画 前期基本計画（案）A4版

（当日配布資料）

- ・宇城市総合計画 前期基本計画（案）A3版

1 開会

- ・欠席報告（林田健委員）

2 議事 進行（井田会長）

(1) 第1回会議の振り返り

（説明：事務局）

宇城市の第2次総合計画策定の基本方針について説明。

総合計画は、市政における全ての施策の基本となる市の最上位の計画で、本年度作成し29年度から運用する。

計画の期間と構成について

- ・計画は「地方創生」と「震災復興」を新たに加えたものとし、審議会や議会の意見を伺いながら策定する。
- ・体系は「基本構想」、「基本計画」及び「実施計画」とし、基本構想が36年度までの8年間、基本計画を前後期それぞれ4年とする。

策定スケジュールについて

- ・来年3月の策定を目指し、庁内各部署で係長を中心に草案の検討作業を進めている。審議会は5回の開催を予定しており、2回目、3回目は提案された草案を基に、部会ごとに進め、4回目から全体協議、3月開催予定の第5回会議で素案を確定し、市長に答申する。
- ・市議会には、12月と2月に進捗状況を報告する。

部会の設置について

- ・基本構想の政策を、「震災復興」「教育文化」「生活環境」「健康福祉」「産業経済」「都市基盤」「行政運営」「地方創生」の8分野としており、市の関係部署も加わり、4つの部会に分かれて審議する。

質疑応答

（1問のみ紹介）

- ・（質）1次計画では、人口を70,000人になると計画したが、現実には60,000人を割っておりマイナスの現状である。その総括は？

（答）当時は雇用創出、若年層の流入も含めた中で計画を考えた。70,000人は希望を抱く数字であり、現実を見た数字ではなかった。2次計画では、前回の反省も踏まえ計画を立てていく。

意見交換

市の望むべき将来について、委員全員からそれぞれ思いや意見をいただいた。

(4つの意見を紹介)

- ・人口を4万人に留める目標を掲げているが、高校生や大学生を熊本で留める視点が必要。宇城市が選ばれるため、土地の紹介や格安の住宅建設などのプランが出来ればと思う。
- ・訪日観光客が地方に足を運んでもらうためには、人、モノ、カネの受け皿が大事。受け入れ体制が厳しくなれば宇城市は通過点になる。
- ・若者や子育て世代が定住する「まち」にしてもらいたい。県北の菊陽、合志、大津は元気のある「まち」と言われている。宇城市も県南の元気がある「まち」に位置づけられたら良い。
- ・震災の復興が非常に大事。高齢者の中には家を建て直す資力がなく市を離れる人もいる。第2次は現実に即して復興も含め、未来を見据える計画が出来ればと思う。

(2) 施策別協議 (グループワーキング)

【基本計画の草案について意見交換】(草案は事前検討依頼済)

第1部会 (教育文化)

- ・上村委員・吉良委員・中山委員・林田仁委員
教育部職員

第2部会 (健康福祉)

- ・田中委員・藤田委員・西岡委員・右山委員
健康福祉部・市民環境部職員

第3部会 (産業経済・都市整備・生活環境)

- ・坂本委員・塚本委員・福永委員・中塘委員・森川委員
経済部・土木部・総務部・市民環境部・企画部職員

第4部会 (地域経営)

- ・井田委員・松岡委員・横尾委員・平山委員・瀨崎委員
総務部・企画部職員